

(株)西村風晃園 × SDGs



(株)西村風晃園 × SDGs

(株)西村風晃園は、兵庫県内を中心にみどり関連事業を展開しています。コウノトリの野生復帰に取り組む豊岡で誕生し、2019年に創業70年を迎えました。環境関連事業や斜面防災事業、森林整備等に積極的取り組み、“小さな環境世界都市”豊岡から緑・環境をコンセプトに事業拡大を図っている企業です。



社章

(「西村」の“ニ”と風の揺らぎを表す)



創業60周年記念 イメージキャラクター

●SDGs (持続可能な開発目標) とは

2001年に策定されたミレニアム開発目標 (MDGs) の後継として、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。……………

(外務省 HP より引用)

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/about/index.html>

17の目標はそれぞれ相互に関連し合っていて、「総合的かつ包括的」な目標であるとされています。



●(株)西村風晃園の企業理念/理念体系図

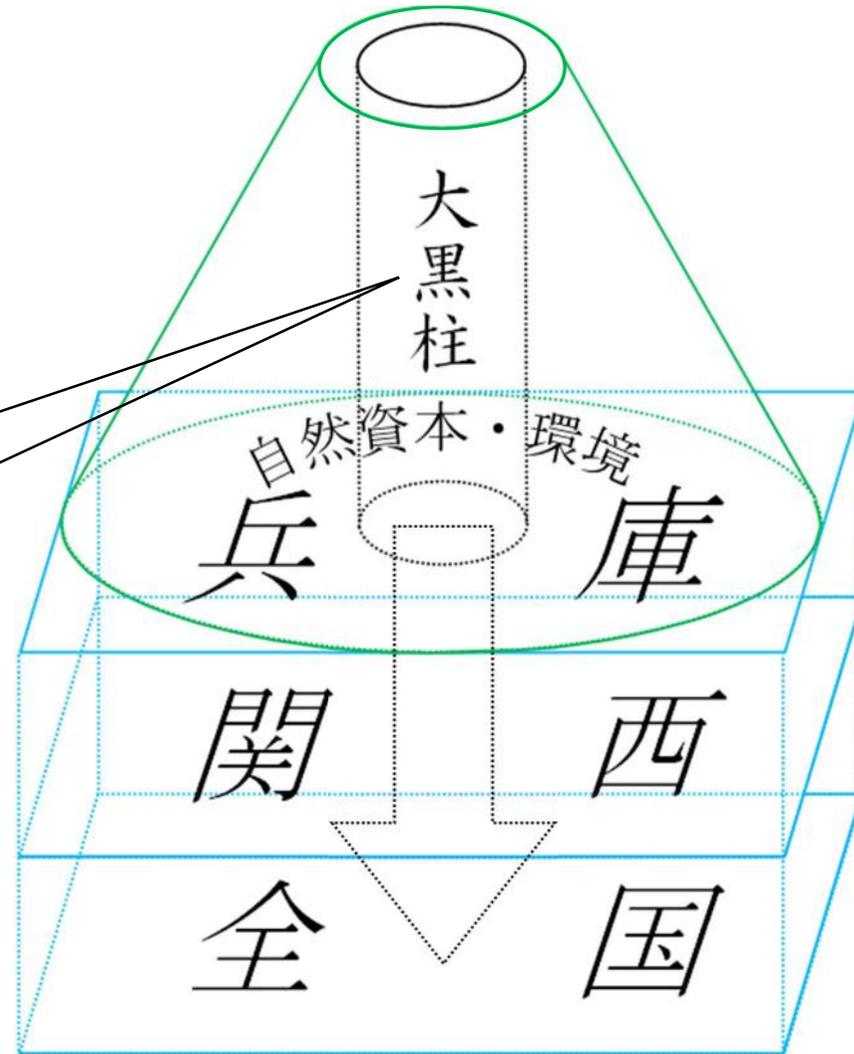
I. 企業理念/理念体系図

★企業理念：「全てに感謝し、世のため人のために働いて生きていく」

☆テーマ：「グリーンプレス、緑と文化を咲かせよう」

大黒柱

共存共栄を命に、私達は「全てに感謝し世のため人のために働いて生きていく企業」お客様一番、掃き掃除、拭き掃除、全てに整理整頓を毎日行う。私達は「全てに感謝し世のため人のために働いて生きていく行動と心」決めたこと決められたことを行い、25期変革の実行とみどりを活かして社会に貢献することで継続的黒字会社を目指す。



理念体系図(イメージ)

II. 大黒柱



当社は「共存共栄[※]」を重んじ、「全てに感謝し世のため人のために働いて生きていく」ことを大黒柱(企業理念)としています。“みどり”を軸とした事業に取り組むことで、社会に貢献しております。

※共存共栄：「2つ以上のものがお互いに助け合い生存し、共に栄えること」



ボランティア清掃



安全大会にて協力会社とゼロ災害を誓う

● “(株)西村風晃園×SDGs”

I. フローチャート

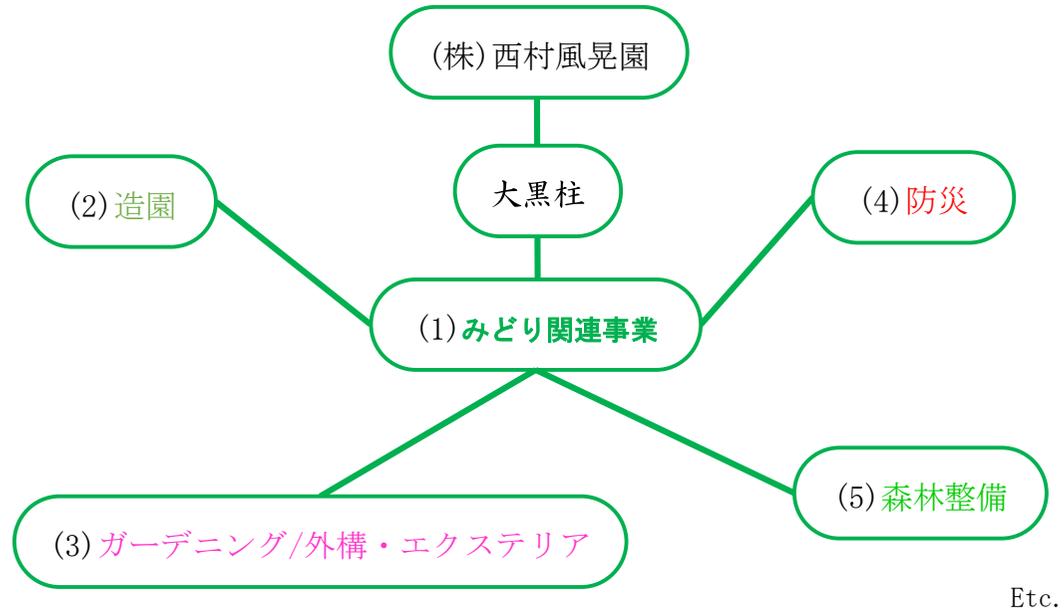


図 (株)西村風晃園の事業概要(フローチャート)

II. 事業とSDGsとの関わり

(1) みどり関連事業



現代の日本には「環境、防災、森林、景観」など、解決できていない様々な課題があります。当社は但馬・丹波・播磨・摂津・淡路の兵庫五国という豊かな環境に恵まれたフィールドを拠点に“みどり”＝自然(地球)を相手に事業を展開し、未来の社会のために課題(困り事)の解決に向けて取り組んでおります。



コウノトリの巣作り(豊岡市)



コウちゃんと植樹(豊岡市)

(2) 造園



造園事業では、植樹・植栽や剪定、芝張りなど様々な手法によって庭園・公園や道路・建築物などを緑化し、景観を向上させたり緑を復活させたりしています。この事業は都市部における緑化の推進や農村インフラの維持・保全などにもつながります。



市民と共に緑化(豊岡市)



公園整備(芦屋市)

(3) ガーデニング/外構・エクステリア



主に多種多様な植物やガーデニング用品などを販売している「ANNEX はなかんざし」や、個人のお庭向けの外構・ガーデン工事を取り扱っています。植物は、私たちに精神的な安らぎを与えてくれます。また、現在DWファイバーと呼ばれる土壌改良材に関する取り組みも進めており、新たな事業に積極的に携わっています。



ANNEX はなかんざし(豊岡市)



外構・ガーデン工事(姫路市)

(4) 防災



近年、自然災害による被害が年々増加しています。防災事業では、地震や洪水、土砂崩れの発生などによって地滑りを起こしたり、崩壊・落石の危険性があつたりする山の斜面などに対して、被害を防ぐための工事を行っています。この事業の推進によって、安心できる生活環境の維持や、インフラ整備・防災産業の普及に努めています。



山腹崩壊を防ぐ法面工事(宝塚市)



インパクトバリアが土砂を補足(西宮市)

(5) 森林整備



森林整備事業は2008年から始めた比較的新しい取り組みです。樹木の伐採や治療、森林調査、里山の修景などによって豊かな自然を守る事業に取り組んでいます。自然を守ることは生産資源の増加を促進させたり、森林(山)を守る(再生させる)ことによって水を守ることに繋がったり※することができます。

※森は海の恋人



森林整備・伐採作業の様子(神戸市灘区)



野生動物共生林整備(神戸市西区)

Ⅲ. 環境に配慮した取り組み

当社では、25年以上前からLPガス(LPG、液化石油ガス)を燃料とする自動車を社用車として多く採用しています。LPガスとは、炭素(プロパン・ブタンなどの天然ガス)と水素を混合・圧縮させ、常温で液化できる状態にしたガス燃料の総称のことを指します。LPガスの燃焼時CO₂排出係数はガソリンや灯油など他の燃料と比べて低く、通常ガソリン車よりも10%以上CO₂の排出量を抑えることができます。また、機械への負担も軽く、長く使用することができます。一般的にタクシーにLPガス車が多いのはそれらが理由です。

現在、当社ではLPガス車6台、ガソリンとのハイブリッド車2台、電気・ガソリンとのトリプルハイブリッド車1台が活躍しています(総台数の約40%)。



当社で活躍しているLPガス車たち
(手前から、LPガス車、LPガス車、トリプルハイブリッド車、ハイブリッド車)

IV. 新たな^{こころ}試み

(1) DW ファイバーの活用

DW ファイバーは、国産の木材を特殊な方法で処理し、植物の生育を促す効果を持つフルボ酸[※]を加えた土壌改良材です。大建工業株式会社（大阪市北区）と国土防災技術株式会社（東京都港区）が共同開発した DW ファイバーは、土壌に混ぜることで保水性や透水性などを改善させるだけでなく、ミネラル分の供給を効率的にし、さらに pH 緩衝作用により化学性を改善させる効果もあります。これらの作用により、幅広い工法、あらゆる用途での活用が可能です。また、緑化や植栽の基盤として適していない土壌の改良工事にも利用することができます。

当社は、この DW ファイバーの販売代理店及び木質ファイバー活用研究会のメンバーとして事業に関わり、産官学連携にも取り組んでいます。

※フルボ酸とは森林や土壌の中に存在する有用な腐植酸の一つで、植物の光合成を活性化し、生成促進に効果があります。



DW ファイバーを使用した SDGs ガーデン(淡路市)



DW ファイバーを使用した SDGs タワー(洲本市)

(資料)DW ファイバーを紹介するチラシ

DWファイバー

木で創る環境にやさしい園芸資材

DWファイバーについて

DWファイバーは国産の木材チップを特殊解繊処理し、森林資源を利用した植物の生育促進効果のある純国産フルボ酸を添加した土壌改良材です。



DWファイバーのメリット DWファイバーを使っていたらメリットは主に3つあります。

- ポイント① 軽くて運びやすい
- ポイント② 燃えるゴミに出せる
- ポイント③ 手が汚れにくい



DWファイバーを活用した事例 培地や土壌改良他、園芸資材として様々な実績があります。

土壌改良



マルチング



軽量培地(プランター、壁面など)



■事例については一例であり、実際の使用方法・条件によって効果が異なる場合があります。

DWファイバーの製品や購入に関するお問い合わせや工事のご相談はこちらまで

木質ファイバー研究会 事務局
兵庫県姫路市朝日町65番地
Tel:079-224-5611 FAX:079-224-8187

■当チラシの内容は予告なく改訂する場合があります。
©木質ファイバー研究会 2022.2
本誌に掲載したものはすべて当協会に著作権の存するものですが、無断の複製はいたくお断りします。

※『DWファイバー』大建工業株式会社の登録商標です。

(2) 自然再生事業

2021年夏より、香美町村岡区にある「たじま高原植物園」の再生事業に取り組んでいます。この植物園は標高約680mに位置し、南地方の植物の北限、北地方の植物の南限、高山植物の低限、低地植物の高限であること、さらに2つの池や湿地があることなどから、多種多様な動植物が生息・分布しています。しかし、近年は枯木・支障木の増加や遊歩道の劣化、湿地の減少、鹿の食害(獣害)、外来種による環境の変化など様々な課題が生じていました。これまで園内の植生・生態調査、支障木・根株の切除、外来植物の除去などを行い、景観の向上や環境回復への手助けをしています。今後も引き続き植物園が抱える様々な課題(困り事)の解決をしていきます。



たじま高原植物園での外来植物除去業務(香美町)

(株)西村風晃園 “みどり” 宣言

我々(株)西村風晃園は「グリーンプレス、緑と文化を咲かせよう」をテーマに、みどり関連事業を展開しています。

山が多く国土の約3分の2を森林が占めている日本列島において、“みどり”は非常に身近な存在であると同時に、様々な課題を抱えています。

当社は、そんな“みどり”の課題(困り事)に着目して多様な事業に取り組み、「持続可能な社会」の実現に向けて創業100年を目指します。